



言葉で伝え合おう

令和5年3月1日
静岡市立南中学校
学校便り3月号

「南中グループがコミュニティ・スクールに！」

校長 長尾 剛史

「コミュニティ・スクール」とは、学校運営協議会を設置した学校をいい、学校と地域住民などが力を合わせ、子どもたちのより良い環境づくりに取り組む「地域とともにある学校」を目指すための仕組みです。学校運営協議会は、地域住民や保護者などから構成されます。静岡市では、令和6年度から全市一斉に学校運営協議会を設置することを目指しています。そして南中グループは、4月1日より、「学校運営協議会」設置校となり「小中一貫コミュニティ・スクール」として再出発します。

南中グループ校長連絡会では、令和2年度から学校運営協議会の設置について検討してきました。南中グループはご存じのとおり4小1中の大所帯ですので、学校運営協議会設置による効果がどこまで見込めるかが協議の中心でした。結論として、学校運営の諮問機関としての役割は、引き続き各校の地域学校協働本部が担うこととし、各校の課題に向き合うことにしました。そして設置にあたり、南中グループが期待する効果を次のような2点と考えました。

一つめは、学校が向き合う課題は、各校の地域学校協働本部のレベルでは、解決できない大きな課題であることが考えられます。解決が困難であると校長連絡会が判断したとき、学校運営協議会を招集し、南中グループ全体の課題として解決に向けた話し合いを行っていくことができると考えました。

二つめは、コミュニティ・スクールならではの「つながり」です。南中グループが小中一貫教育で、軸とする教育活動は「特別活動と探究学習」です。特に「総合的な学習」においては、指導内容に学区や地域を題材とする場面が計画されています。南中グループには、歴史や文化、自然環境を生かした農作物や加工品、特徴のある事業所や商業施設などの教育資産が数多くあり、地域とつながり、「ふるさと教材」と向き合うことが容易な学区と言えます。小学校での学びを終えたとき、学区の魅力を知り、学区を自慢できる子どもたちを育てることができるのです。それらを踏まえて、中学校では、さらに踏み込んだ課題に向き合い、学区や地域をより良くするための企画を考え、発信・表現・行動する学習に取り組むことができます。昨年度から1年生が総合的な学習で取り組んでいる探究：「我ら、南中学区応援団！」がこれにあたります。南中グループ学校運営協議会は、このような児童生徒の学びを支える組織として機能すると考えています。

また、通常の学校運営や児童生徒への指導に係る、協力・支援、評価などは、各校の地域学校協働本部が従来どおり取り組んでいきます。そして、南中グループ学校運営協議会全体の動きとともに、児童生徒の学びをサポートする役割を学校運営協議会が担っていきたいと考えています。

学校運営協議会の目的

南中グループ学校運営協議会規則 第2条「目的」より

学校運営協議会は、南中グループが掲げる教育目標の実現に向け、情報を共有することで学校運営に参画し、次に掲げる事項の達成を目指すものとする。

- (1) 各学校及び地域学校協働本部において、解決が困難な学校運営上の教育課題について、協議会が協議を行い、諮問機関としての役割を果たすほか、その課題解決に向け協働する。
- (2) 教育目標の実現に向け、南中グループの軸とする教育活動「探究と特別教育活動」を支援する。
- (3) 学校を核として、地域の大人と児童生徒が学び合い、地域コミュニティの活性化を図る。

子どもたちの学びを支える地域学校協働活動チーム「MiMi（仮称）」について

私たちは、南中グループ学校運営協議会の下部組織、チーム「MiMi（地域学校協働活動推進員の組織）」を、児童生徒の学びを支援する組織に育てたいと考えています。推進員の方々は、各校で「学校応援団」や「放課後子どもクラブ」などで活躍しています。チーム「MiMi」の主な活動内容は、推進員の研修会を定期的に行い、学区の魅力を南中グループに提供していくことです。今後、事業所等での取材情報や、学区に伝わる伝説などを紹介していく予定です。また、教育資産の基本情報を各校に提供できるよう活動を進めています。チーム「MiMi」では、今後この活動を推進員だけでなく、保護者の方や地域の方たちを巻き込み、サークル活動として活動を広げていきたいと考えています。

